

平成26年度廃止事業説明資料

(単位:千円)

部局名	政策推進部	事業名	明日の文化活動担い手育成事業 (子ども文化活動体験講座)	対前年度 事業費	▲ 96
事業の内容	子どもを対象とした伝統文化の体験講座を開催し、さまざまな文化活動を体験させ、興味を持たせることで、将来の文化を担う子どもたちの育成と文化の継承を図る。				
廃止に至った理由及び経緯	1回の開催で多人数を対象にできないため幅広い効果が見込めないこと、また、民間の団体など外部でも、子どもを対象とした同様の講座開催が行われているため終了とする。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	政策推進部	事業名	明日の文化活動担い手育成補助金 事業	対前年度 事業費	▲ 210
事業の内容	文化団体等が実施する子どもを対象とした活動のうち、次世代育成に効果があると認められるものに対して、経費の一部を補助することで、次世代の文化の担い手の育成を図る。 補助額：(補助対象経費－入場料等の収入) × 1/2 (上限：1団体10万円・年1回)				
廃止に至った理由及び経緯	本事業は、文化振興基本計画の計画期間、平成20年度から平成24年度の5カ年間を実施期間とし、基本計画の1年延長に伴い、平成25年度まで実施したもので、当初の計画通り終了とする。 また、同じ団体による同種の事業での申請が多いこと、新規の申請が少ないこと、補助額が少額であること、また、限られた団体への補助となっているため、当初の予定通り、平成25年度で終了することが妥当であると判断した。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	健康部	事業名	産科医師確保補助金	対前年度 事業費	0
事業の内容	分娩取扱医療機関が新たに産科医師を雇用して増員する場合に、産科医師の確保経費として、年間給与の 1/2 (1人につき 780万円上限) を最長3年間にわたって助成する。				
廃止に至った理由及び経緯	平成22年度に市内の2病院が分娩取扱を休止するなど産科医師の不足が問題となっていたことから、平成23年度から平成25年度までの時限的な制度として、産科医師の確保経費を助成する補助金を創設した。 平成24年度に医師2人分(補助期間：平成24年度～平成26年度)、平成25年度に医師2人分(補助期間：平成25年度～平成27年度)の申請があり、合計で医師4人分の増員に対する助成を行っている。 市内の産科医師数は9人(平成22年度)から23人(平成25年10月現在)に増加し、市内の出産環境は改善している。 よって、当初のスケジュールどおり標記補助金の新規受付を平成25年度に終了する。 (補助金の継続分は、平成27年度まで支出する)				
市民生活への影響等	特になし。制度廃止については市内医療機関に周知済。				

(単位:千円)

部局名	健康部	事業名	公衆浴場確保対策費補助金	対前年度 事業費	▲ 1,180
事業の内容	近隣に公衆浴場がない地域で、浴場経営を行っている事業者に浴場確保対策として助成金を交付する制度 【対象】 ①半径1キロメートル以内に他の公衆浴場がなく、1日平均入浴者数が120人以下の施設 17万円×4施設（うち県補助金6万円×4） ②半径500メートル以内に他の公衆浴場がない施設 10万円×5施設				
廃止に至った理由及び経緯	市内23施設のうち補助対象が9施設で、当該補助金について他の事業者から公平性の観点で不満の声があるため。 また、県からの補助金が平成25年度限りで廃止されるため。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	経済部	事業名	横須賀おみやげPR補助金	対前年度 事業費	▲ 100
事業の内容	横須賀おみやげコンテスト入賞者に対し、市外の見本市や物産展等に出展する経費の一部を補助する。				
廃止に至った理由及び経緯	横須賀おみやげコンテストは、当初から事業期間を平成22年度～24年度の3年間のサンセット事業として実施しており、予定どおり平成24年度で終了した。 横須賀おみやげPR補助金は、交付申請期間をコンテスト入賞の翌年度までとしているので、平成25年度をもって廃止する。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	経済部	事業名	空き店舗出店奨励金	対前年度 事業費	▲ 15,130
事業の内容	商店街地域で、入居募集を開始してから3ヶ月以上が経過し、かつ3ヶ月以上空いている空き店舗へ出店する事業者に奨励金を交付。				
廃止に至った理由及び経緯	空き店舗出店奨励金は緊急経済対策として実施し、平成23年度から3年間の予定で延長実施していたもので、予定どおり終了する。 平成26年度からは、新たな「商店街応援アクションプラン」に基づいて、商店街の空き店舗対策の取り組みを支援していく。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	経済部	事業名	民営市民農園開設整備費補助金	対前年度 事業費	▲ 1,400
事業の内容	民間による市民農園開設の初期費用を支援し、遊休農地等の削減及び農地の保全を促進する。				
廃止に至った理由及び経緯	サンセット事業であり、平成23年度から平成25年度に実績もなかったため廃止する。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	経済部	事業名	多品種作付け支援事業補助金	対前年度 事業費	▲ 4,000
事業の内容	多品種作付け等を支援し、生産量・市内流通量の拡大、生産者所得の向上を図ることにより、地産地消の推進、本市経済の活性化につなげる。				
廃止に至った理由及び経緯	平成25年度までの4年間継続実施したことで、地場産農産物の多様化も進み、平成23年6月に「すかなごっそ」、平成25年3月に「よこすかポートマーケット」が開設されたことで、市内大型直売所への出荷促進体制も一段落したため、当所目的は達成し、政策誘導は終了する。 ただし、不耕作地を活用した作付け支援事業については、依然市内に不耕作地が存在することから、対象品目を限定せず、平成26年度以降も別事業として継続する。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	経済部	事業名	名産品・特産品づくり支援事業 (農業・水産業)	対前年度 事業費	▲ 3,900
事業の内容	加工品製造に取り組む生産者を支援し、生産量・市内流通量の拡大、生産者所得の向上を図ることにより、地産地消の推進、本市経済の活性化につなげる。				
廃止に至った理由及び経緯	農業に対しては、平成21年度から平成25年度まで、水産業に対しては、平成24年度から平成25年度まで、事業を継続実施した。 その結果、農産加工品の製造販売業に参入する生産者も増え、平成23年6月に「すかなごっそ」、平成25年3月に「よこすかポートマーケット」が開設されたことで、市内大型直売所への出荷促進体制も一段落している。当初目的が達成されたため、平成25年度末をもって事業を廃止する。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	経済部	事業名	地産地消 味めぐり事業	対前年度 事業費	▲ 328
事業の内容	地場産農水産物についての正しい知識や料理方法、美味しい食べ方を発信するため、参加者約 100人を対象に、J Aや漁協など約15団体が地場産の農水産物を使用した料理の出品や、地産地消の取り組みを紹介する事業。参加者は参加費として 500円を支払う。 参加者が実際に味わうことにより地場産農水産物の一層の消費を促し、当日の料理のレシピを配付すること等で家庭での「地産地消」へつなげていく。				
廃止に至った理由及び経緯	単なる安価な食事イベントとして利用されている傾向がみられ、家庭での地産地消促進という目的に適合していない状況である。 また出品団体であるJ A・漁協も、数年継続したことで、新しいレシピの考案や、一度に100食以上の食事を用意することに負担を感じている。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	経済部	事業名	乳用子牛預託育成奨励事業費補助金	対前年度 事業費	▲ 51
事業の内容	乳質に優れ、泌乳期の長い優秀な乳牛に育成するために、預託育成する費用の一部を補助				
廃止に至った理由及び経緯	現在、市内に補助対象となる酪農家（乳牛農家）は1軒しかない。補助金も少額となっている。				
市民生活への影響等	特になし				

(単位:千円)

部局名	土木部	事業名	駐車場マップ配布事業	対前年度 事業費	▲ 116
事業の内容	横須賀中央、汐入駅周辺の「駐車場マップ」を作成し、警察署、商工会議所などを通じて配布（10,000部） 毎年現地調査を行い、情報を更新している。				
廃止に至った理由及び経緯	時間貸しのコインパーキングが年々増加しており、容易に駐車場所を見つけることができるようになったため。 また、インターネットやカーナビの普及により、利用者自身による最新の情報入手が可能となったため。				
市民生活への影響等	特になし				